

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年 5月14日

【会社名】 シャープ株式会社

【英訳名】 Sharp Corporation

【代表者の役職氏名】 取締役社長 奥田 隆司

【本店の所在の場所】 大阪市阿倍野区長池町22番22号

【電話番号】 (06)6621 1221(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレート統括本部経理部長 青山 孝次

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝浦一丁目2番3号  
シャープ株式会社東京支社

【電話番号】 (03)5446 8221(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレート統括本部財務部IRグループ  
副参事 五十嵐 哲也

【縦覧に供する場所】 シャープ株式会社東京支社  
(東京都港区芝浦一丁目2番3号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき提出するものであります。

2 【報告内容】

特別損失の計上

イ 当該事象の発生日

平成25年5月14日

ロ 当該事象の内容

当社グループは、厳しい経営環境の中、今後の成長に向けた抜本的な事業構造改革に取り組んでおりますが、経営環境の変化に伴い、損失処理しております。

ハ 当該事象の損益に与える影響額

平成25年3月期第4四半期の連結決算において97,069百万円、個別決算において94,160百万円の減損損失、事業構造改革費用及び訴訟損失引当金繰入額を特別損失に計上いたします。

なお、主な内容は以下のとおりであります。

(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(単位：百万円)

内 容	金 額	
	連結	個別
(1)減損損失 急激な円安や中小型液晶の需要変動等、経営環境の変化に伴い、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった液晶パネルやAV機器の固定資産について減損処理しました。	47,396	47,396
(2)事業構造改革費用 主として太陽電池事業の構造転換によるリース設備解約損等があります。	17,352	14,444
(3)訴訟損失引当金繰入額 TFT液晶事業に関し、海外で提起されている損害賠償を求める民事訴訟のうち、損失が発生する可能性が高いものについて金額を合理的に見積り計上しました。	32,321	32,320
合 計	97,069	94,161